

安全データシート (SDS)

作成日 2009/01/05

改訂日 2018/06/26

1 化学物質等及び会社情報

- 【化学物質等の名称】 シンプルグリーン ウエットタオル
製品品番：SG-ST
- 【供給者】 ムラテック KDS 株式会社（総輸入発売元）
- 【住所】 京都市南区東九条松田町 39
- 【担当部門】 業務部
- 【電話番号】 075-662-7325（問合せ先・緊急連絡先）
- 【FAX 番号】 075-661-2764
- 【推奨用途】 工業用洗剤・油汚れ落とし（水洗いに耐性のある表面への使用に限る）、手に付着した油汚れ落とし
- 【使用上の制限】 水洗いできないもの（シルク、ウール、白木、革製品など）、特殊加工された表面（特殊加工されたアルミなど）への使用

2 危険有害性の要約

【物理化学的危険性】

- 火薬類 :
- 可燃性・引火性ガス :
- 可燃性・引火性エアゾール :
- 支燃性・酸化性ガス類 :
- 高压ガス :
- 引火性液体 :
- 可燃性固体 :
- 自己反応性化学品 :
- 自然発火性液体 :
- 自然発火性固体 :
- 自己発熱性化学品 :
- 水反応可燃性化学品 :
- 酸化性液体 :
- 酸化性固体 :
- 有機過酸化物 :

金属腐食性物質 :

【健康に対する有害性】

急性毒性（経口、経皮） :

急性毒性（吸入：ガス、蒸気、粉じん、ミスト） :

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 :

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 :

呼吸器感作性又は皮膚感作性 :

生殖細胞変異原性 :

発がん性 :

生殖毒性 :

特定標的臓器毒性（単回ばく露） :

特定標的臓器毒性（反復ばく露） :

吸引性呼吸器有害性 :

【環境に対する有害性】

水生環境有害性（急性） :

水生環境有害性（慢性） :

※記載がないものは分類対象外、区分外または分類できない。

【ラベル要素】

絵表示又はシンボル : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き : なし

国・地域情報 : なし

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物
 化学名又は一般名：合成洗剤

成分、含有量、官報公示整理番号及び CAS No.

成分名	含有量	化審法官報公示 整理番号	CAS No.
水	>94.8%	—	7732-18-5
Ethoxylated Alcohol	<1%	—	68439-46-3
トリナトリウム シトラート	<1%	2-1323	68-04-2
N,N-ビス(カルボキシメチル)-L-グルタミン酸四ナトリウム	<1%	—	51981-21-6
炭酸ナトリウム	<1%	1-164	497-19-8

クエン酸	<1%	2-1318	77-92-9
2-メチル-1, 2-チアゾール-3 (2H) -オンと 5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3 (2 H) -オンの混合物	<0.2%		55965-84-9

※詳細な成分の配合率は非公開とする。

4 応急措置

吸入した場合	吸入による影響は予期していない。 万が一、有害な影響がある場合は、新鮮な空気に入れ替えること。
皮膚に付着した場合	皮膚への影響は予期していない。 万が一、有害な影響がある場合は、水で皮膚を洗い流すこと。
眼に入った場合	刺激が起こる。 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。また、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	胃の調子が悪くなる場合がある。 多量の水を飲んで薄める。 「11 有害性情報」も合わせて確認のこと。
予想される急性及び遅発性症状	特になし
最も重要な兆候及び症状	特になし
応急措置をする者の保護	特になし
医師に対する特別注意事項	症状に基づいて処置する。

5 火災時の措置

消火剤	粉末消火器、二酸化炭素消火器、水噴霧消火器、機械泡（耐アルコール型）消火器
使ってはならない消火剤	大量の噴流水
特有の危険有害性	火災の際は酸化炭素が発生する
特有の消化方法	なし
消火を行う者の保護	プレッシャデマンド形（陽圧形）空気呼吸器と防火手袋、上下ともに防火衣を着用すること

※この製品自体は不燃性である。「9 物理的及び化学的性質」を参照

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「8 ばく露防止及び保護措置」の保護措置を参照 眼への接触を防ぐ。ゴグル形保護めがねを着用する。
環境に対する注意事項	河川、海洋、地下水系への流出を防ぐ。

回収・中和	水で薄め、下水道へ洗い流す。適切な容器に回収して廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材	不活性吸収剤（例：おがくず、粒状粘土、ペット用砂など）で囲み、吸収させる。「13 廃棄上の注意」も参照。
二次災害の防止策	特になし

7 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策	「8 ばく露防止及び保護措置」を参照
局所排気・全体換気	十分な換気を確保する。
安全取扱い注意事項	子供の手の届かないところに置くこと。 熱源、火花、裸火から離す。 直射日光に当てない。 容器に穴をあけない。 他の化学物質を混ぜたり、接触させたりしない。

接触回避	「10 安定性及び反応性」を参照
衛生対策	使用中は飲食、喫煙しないこと。

【保管】

技術的対策	容器の蓋をきちんと閉める。
混触危険物質	「10 安定性及び反応性」を参照
保管条件	乾燥した涼しい場所に保管する。 長時間、日光が当たらないようにする。 温度が 42.7℃を超える場所には保管しない。
容器包装材料	特になし

8 ばく露防止及び保護装置

管理濃度	未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	未設定 OSHA、ACGIH によって TWA、STEL が定められている物質は含んでいない。
設備対策	洗眼器、シャワーを設置すること。 使用場所には全体換気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	よく換気された場所で使用すること。狭い場所で使用する場合は、局所排気装置を設置すること。
手の保護具	特になし
眼の保護具	はね返りやしぶきがかかるような場合は、スペクタクル形もしくはゴーグル形の保護めがねを使用すること。

皮膚及び身体の保護具	長時間使用する場合や皮膚が敏感な方は保護手袋（材質は問わない）を使用すること。
衛生対策	取扱い後や飲食の前によく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	液体をしみ込ませたポリプロピレン地
色	ポリプロピレン地：白、液体：透明
臭い	添加なし
pH	8.5 - 9.5
融点・凝固点	0°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	101°C
引火点	データなし
自然発火温度	不燃性
燃焼性（個体、ガス）	分類対象外
爆発範囲（上限、下限）	分類対象外
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度	データなし
比重（密度）	1.01 - 1.03
溶解度	水溶性：100%
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	42.78°C
粘度	水様
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率（電動率）	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	通常環境下（21°C、101.32kPa）においては安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	過度の熱や低温
混触危険物質	酸化剤、酸、酸性タイプの洗剤、除菌剤
危険有害な分解生成物	一般的に燃焼すると、一酸化炭素（CO）・二酸化炭素（CO ₂ ）を発生する。

1.1 有害性情報

急性毒性	経口：ラットの LD50=>5g/体重 kg (OSHA HCS 2012) 経皮：ウサギの LD50=>5g/体重 kg (OSHA HCS 2012)
経口	胃痛を起こす。
経皮	皮膚への影響は予期していない。 繰り返し使用することで乾燥肌を引き起こすことがある。
吸入	過剰に吸入すると頭痛を引き起こす。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚腐食や刺激を引き起こすとされる物質は含まれていない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼刺激を引き起こす。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	混合物としては区分外
発がん性	混合物としては区分外
生殖毒性	混合物としては区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	混合物としては区分外 通常の使用下における単回ばく露での急性や遅発性、慢性の影響は予期していない。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	混合物としては区分外 反復ばく露での急性や遅発性、慢性の影響として、頭痛、乾燥肌、皮膚の炎症が起こることがある。
吸引性呼吸器有害性	混合物としては区分外

1.2 環境影響情報

生体毒性	区分外 (GHS)
水生	≥100mg/L であることから区分外 (類似の配合物による)
土壌	データなし
残留性・分解性	容易に分解 (類似の配合物による)
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1.3 廃棄上の注意

【残余廃棄物】	使用量や処分トン数により考慮すべき危険性はない。 残余廃棄物、使用後の廃液、未使用の液に関わらず廃棄時には、国／都道府県／市町村の規則に従って処理を行うこと。 使用後の廃液は河川や海洋などの公共水域に流さない。
【汚染容器及び包装】	空容器は、水で繰り返し洗浄しリサイクルに出す。

内容物を完全に除去した後、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

1.4 輸送上の注意

国連番号	分類対象外
品名（国連輸送名）	Cleaning Compound, Liquid NOI
国連分類	分類対象外
容器等級	分類対象外
海洋汚染物質	なし
NMFC 番号	48580-3
クラス	55

1.5 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	該当しない
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律（化学兵器禁止法）	該当しない
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
土壌汚染対策法	該当しない
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	該当しない

1.6 その他の情報

【参考文献】

JIS Z 7252 : 2014（GHSに基づく化学品の分類方法）

JIS Z 7253 : 2012（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））

NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）HP

環境省 HP

経済産業省 HP

厚生労働省 HP

【改訂情報】

2009/01/05 : 初版

2013/10/11 : JIS Z 7252:2009、JIS Z 7253:2012 対応のため改訂

2018/04/24 : JIS Z 7252:2014 対応のため改訂

ここに使用したデータはメーカー及び認定技術機関が入手したものであり、購入者側の目的に合致するか否かの判断は購入者側の責任になる。従って情報提供には十分な注意を払ったが、購入者の意図する目的にこれら情報が合致するか否か、又は、その使用結果に関しては、いかなる保証、抗議するものではなく、責任を負うもでもない。